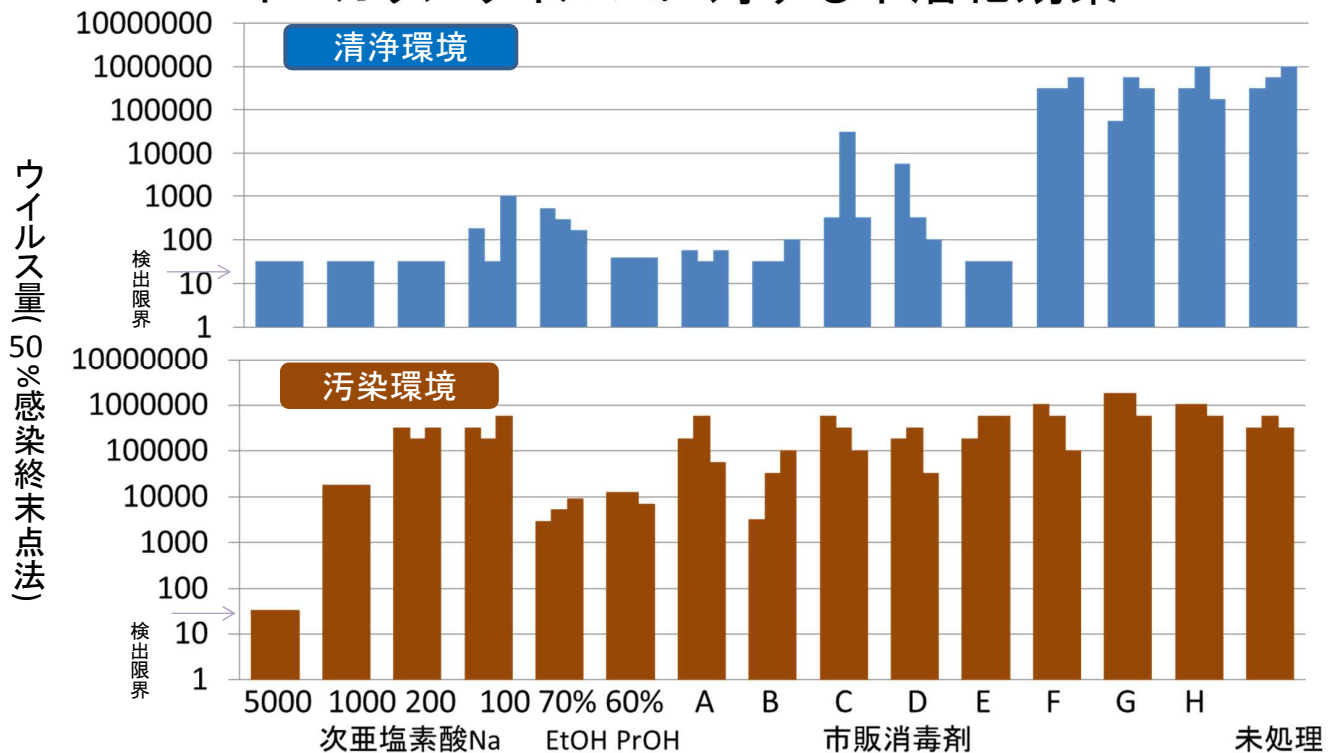


次亜塩素酸ナトリウム、アルコール、市販消毒剤の ネコカリシウイルスに対する不活化効果



リン酸緩衝生理食塩水(清浄環境)またはアルブミンを含むリン酸緩衝生理食塩水(汚染環境)で希釈したウイルス液と各種消毒剤を混合し、3分間作用(薬剤の濃度は試験時の濃度、試験時のアルブミン濃度は5%)

43

ノロウイルスの不活化に用いる消毒剤

- ふん便、嘔吐物等の付着物の処理
1,000~5,000ppmの次亜塩素酸ナトリウム
- 施設の日常的清掃
200ppmの次亜塩素酸ナトリウム
アルコール類
酸性電解水
その他効果が確認された消毒剤(アルコール製剤等)
- 手洗い
アルコール類
酸性電解水
ヨード化合物含有速乾性消毒剤
その他効果が確認された消毒剤等
- うがい(口腔内洗浄)
ヨード(ポピドンヨード)系うがい薬等

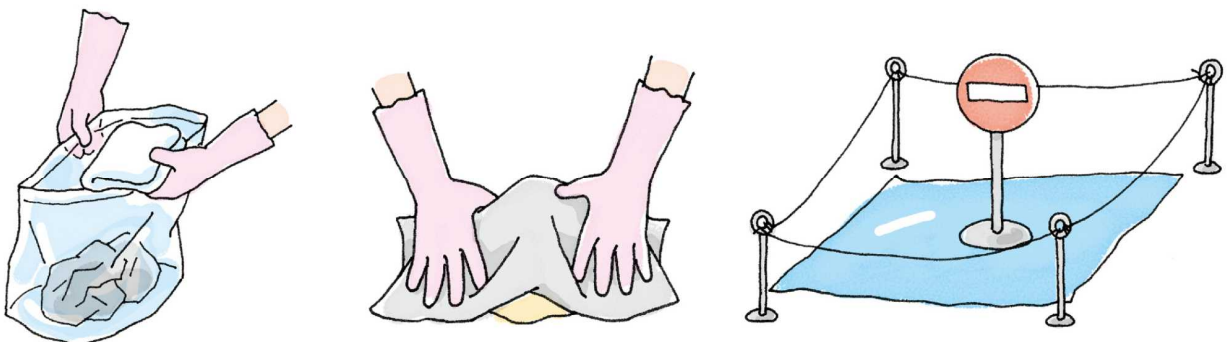
44

初期対応(汚染物理)が不十分だと・・・

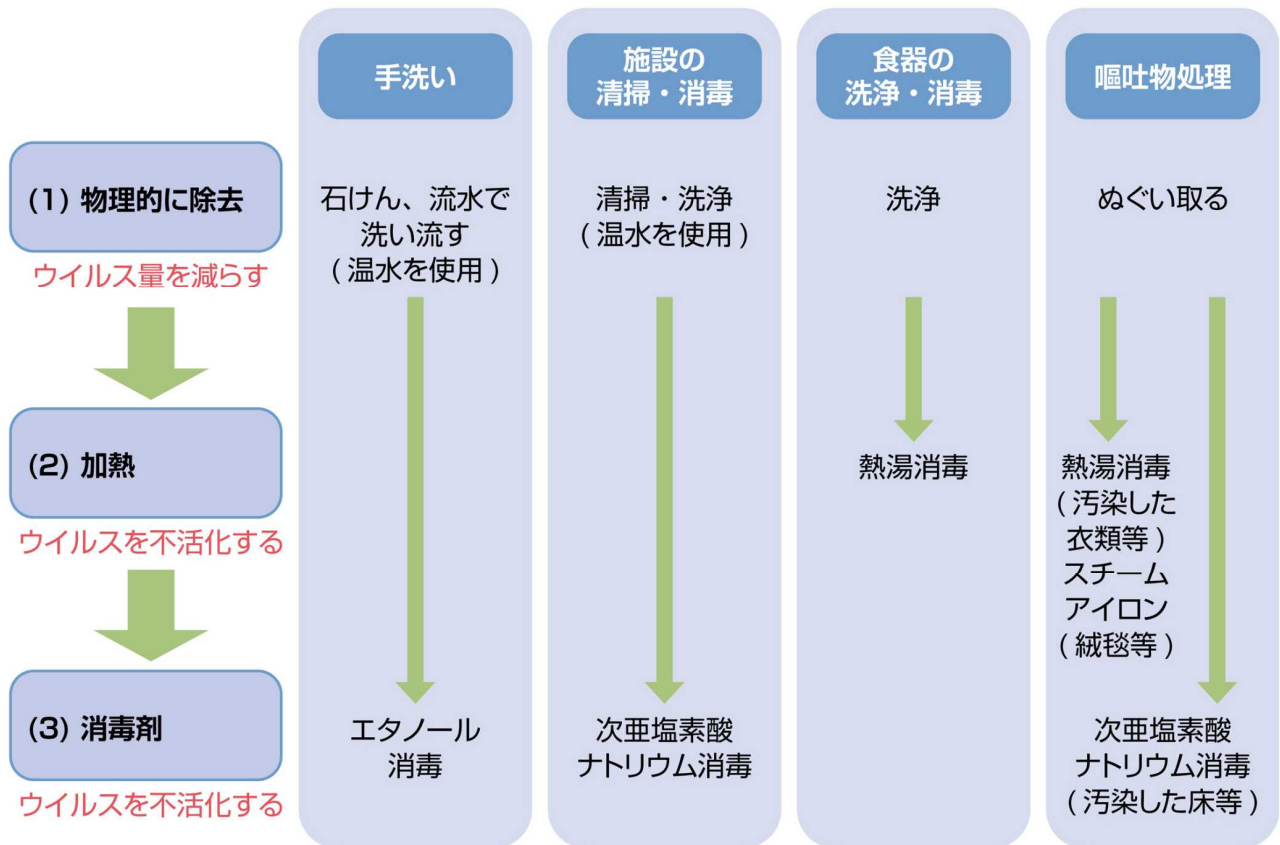


「処理した」の安心は禁物

- 嘔吐物等の汚染場所はしばらくの間、ビニールシート等で広範囲に覆い、立ち入り禁止にする。可能であれば、室温を高く維持する。
- 定期的に次亜塩素酸ナトリウム、アルコール等による消毒、アイロン等による加熱等によりウイルスを不活化する。



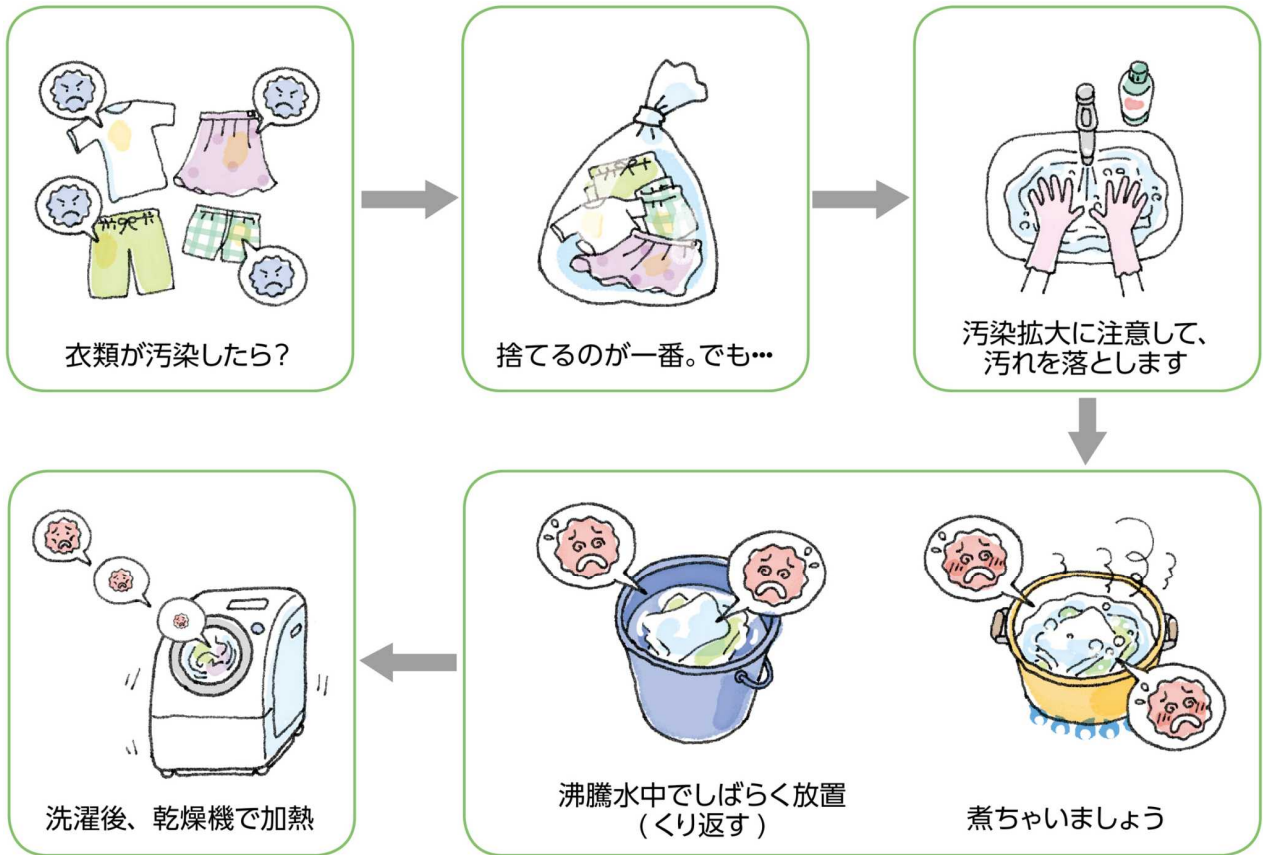
ノロウイルスが汚染したら？



対象ごとのノロウイルスの除去・不活化の方法

| 対象 | 物理的除去 | 加熱・乾燥 | 消毒剤等 |
|-------------|---------------------------|----------------------------|--|
| 糞便・嘔吐物の付着物 | 廃棄する 拭い取る | スチームアイロン 煮沸する 熱湯につける | 高濃度次亜塩素酸ナトリウム(1,000~5,000ppm) |
| 施設・設備、器具・器材 | 清掃・洗浄 | 熱湯・乾燥 | 次亜塩素酸ナトリウム(200ppm程度) 酸性電解水 アルコール類 有効性が確認された消毒剤等 |
| 手洗い | 洗剤を用いたもみ洗い後流水で洗浄 | 乾燥 | エタノール 酸性電解水等 |
| うがい (口腔内洗浄) | 歯ブラシによる歯茎回りの手入れ 丁寧なうがい | | ヨード(ポピドンヨード)系うがい薬 |

衣類が汚染した場合の対処法



49

カーペット等の不活化方法

| 殺菌方法 | 使用 | 注意点 |
|-------------------------|----|------------------------------|
| スチームアイロンによる加熱: 2分 | ○ | 広範囲の加熱には不向き |
| 熱湯をかける | × | 不活化温度を維持できない。ウイルスを拡散させる恐れがある |
| 布団乾燥機による加熱 | × | 寝具の処理は専門業者に依頼 |
| 1,000ppm次亜塩素酸ナトリウム: 10分 | ○ | 変色する可能性がある |
| 市販二酸化塩素剤(0.006%): 10分 | ○ | 不快臭があり、変色する可能性がある |
| 市販オゾン水(0.003%) | × | 嘔吐物と反応して、1分以内に消費される |



しばらく使用は控え、日光消毒を繰り返す。